

2016年10月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年42号)

ラゴア地区の住宅街で侵入強盗事件が発生

10月5日(水)夜、武装した二人組の強盗がジャルジン・ポタニコ地区(ラゴア北側)の住宅(マンション)内に侵入し、少なくとも4世帯を襲撃、住民を人質に取るなどして現金や宝石等を奪って逃走しました。

1 発生日時

平成27年10月5日(水)午後7時30頃～午後8時30頃の間

2 発生場所

ジャルジン・ポタニコ地区 Rua Gentulio das Neves通りに所在のマンション

3 状況

上記日時において、けん銃で武装した犯人グループ(2名)が、監視員のいない裏側の路地(Rua Ministoro Arthur Ribeiro)からマンション内に侵入。その後、少なくとも4世帯を連続して襲撃し、室内を物色する間、住民を人質に取るなどした後、多額の現金等を奪って逃走。事件を察知した警察は、現場に急行したが、既に犯人は逃走していた。現在、付近の防犯カメラの映像を解析するなどして、被疑者の特定に当たっている。

【当館から】

- 当地警察によれば、犯人は、上記の通り監視員のいない裏側の路地からマンション内に侵入しており、より裕福且つ襲撃しやすいマンションを選定すべく、綿密な下見を行った後計画的に犯行に及んだ可能性があるとして調べを進めています。
- また、犯人グループは依然として身柄を確保されておらず、今後も同種犯罪に対する警戒が必要です。
- 周辺には、多くの邦人が居住しており、当館から、管轄する第23軍警察本部に対して、住宅街の巡回パトロールの強化を申し入れています。